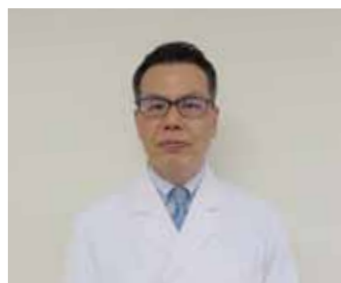


副院長就任のご挨拶

きたばた ひろのり
北端 宏規 医師



〈プロフィール〉

平成 9年 大阪市立大学医学部 卒業
平成11年 和歌山県立医科大学附属病院臨床研究医
平成17年 独立行政法人労働者健康福祉機構和歌山労災病院 循環器科
平成18年 和歌山県立医科大学循環器内科 助教
平成23年 米国Medstar Washington Hospital Center, Division of Cardiology
平成25年 新宮市立医療センター循環器科 部長
平成28年 和歌山県立医科大学循環器内科 講師

専門分野：循環器内科・内科

日本内科学会総合内科専門医
日本循環器学会循環器専門医

平成31年4月1日付けにて副院長として赴任いたしました、北端宏規と申します。平成9年に大阪市立大学を卒業後、地元であった和歌山県立医科大学に戻り主に循環器内科の診療に携わってまいりました。今回、ご縁があり桜ヶ丘病院に勤務することとなりました。

現在本邦は、高齢化、超高齢化社会へと進み、循環器疾患も加齢を背景とした心房細動などの不整脈や大動脈弁狭窄症といった心臓弁膜症が増加してきております。心房細動は、心房内に血栓(血の塊)ができやすく脳梗塞の原因となります。心房細動に伴う脳梗塞は大きな脳梗塞になることが多く、予防が大切になってきます。また、大動脈弁狭窄症は、弁が狭くなるため血液が心臓から出にくくなり胸痛や失神の原因となります。重症になっても手術を行わずにほっておくと最終的には心不全を発症します。そのため、胸痛や息切れなどの症状があれば、早期に悪くなった弁を人工の弁に取り替える必要があります。

当院では、火曜日(午前)、木曜日(午前)、土曜日(午前)に外来を担当しておりますので、動悸や息切れなどの症状を認める場合には気軽に受診いただきご相談ください。

地域医療に少しでも貢献できるように邁進してまいりますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。

●和歌山県医師会医療従事者 優良職員表彰 (平成31年2月21日)

和歌山県医師会より、県内の医療機関で長年勤務し、地域住民の健康を守り医師会活動に貢献した医療従事者として当院より2名が表彰されました。

柏田 あゆみ 看護師 (勤続20年)
裕 成哉 看護師 (勤続16年)



●介護支援専門員交流会 (平成31年3月14日)

第3回目となる今回は介護支援専門員の方々に当院を知ってもらおうというコンセプトで、院内の見学会を行いました。参加された方々からは、「普段、目にしない透析室を見学できてよかった」「嚥下リハのことを聞いて良かった」などの意見を頂き大変有意義な時間となりました。



●第6回慢性期リハビリテーション学会(平成31年2月15日～16日)

今回は、貴志千秋リハビリ室主任が在宅医療の推進と連携強化に向けた取り組み内容について発表を行い、奨励演題に選定されました。今後もこのような学会への参加や発表を積極的に行い、職員の知識を深め、病院全体の医療の質向上を目指していききたいと思います。

テーマ：訪問リハビリテーションにおける関係者間の連携について
～介護支援専門員の実態調査を通じて～

発表者：貴志 千秋 リハビリ室主任
場 所：ウエスタ川越



●第3回さくら健康教室(平成31年3月9日)

3回目となる今回は、世界腎臓デーにちなみ、小田稔腎センター長による『STOP!じん臓病!～気づいてますか? じん臓からのSOS～』と中嶋由貴管理栄養士による『楽しく学ぶ、減塩のコツ』をテーマに講演が行われました。当日は天候にも恵まれ39名の参加があり、早期発見・治療の重要性や身近にできる減塩のコツについて学んでいただきました。



●平成31年度入社式 (平成31年4月1日)

桜ヶ丘病院入社式が行われ、新たに11名の職員が入社されました。

入社式終了後、新入職員は3日間にわたり、感染対策や医療安全、倫理など12項目の研修を受け、医療現場で働くための基礎となる知識を学びました。



●第43回桜ヶ丘病院研究発表会 (平成31年4月13日 於:橘家)

各部門、委員会より6演題の発表が行われました。

最優秀賞

リハビリテーション科 山下 倫礼 理学療法士
テーマ
「外来透析患者に対する運動療法導入への取り組み」

特別講演

講師：桜ヶ丘病院 皮膚科医 小林 和夫 先生
テーマ「皮膚疾患における皮膚科医の考え方」

